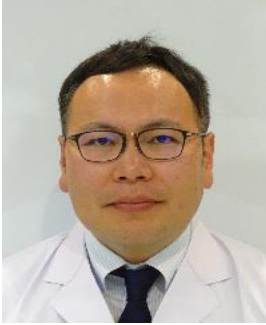


埼玉県立がんセンター レジデント募集中！！

～先輩レジデントからのメッセージ～

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ①



消化器外科レジデント
宮本 良一
(R2～)

私は卒後16年目で埼玉県立がんセンターの消化器外科レジデントとして勤務しています。当院の消化器外科は肝胆膵、食道、胃、大腸と4つのグループに分かれて、それぞれ専門性の高い診療を行っています。

研修内容としては、勤務年数および希望グループによって変わりますが、私の場合は肝胆膵グループを2年間研修としています。

当科(主に肝胆膵グループの内容となります)の特色としては、癌の外科治療に特化した診療内容があげられます。

当施設は肝胆膵外科学会の高度技能専門医修練施設(修練施設A)であり、専門医2名、指導医1名が在籍するため、質の高い専門研修を受けることが可能です。

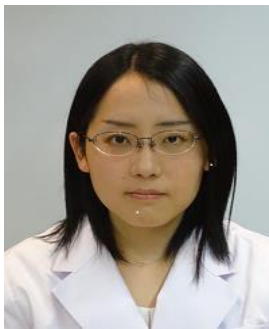
更に、肝胆膵の高難度手術領域においても腹腔鏡手術が広く行われるようになってきましたが、当院においても積極的に導入しております。日本内視鏡外科学会の内視鏡技術認定医(肝切除での取得)が2名在籍するため、専門性の高い内視鏡手術手技を学ぶ事が可能です。

肝胆膵領域は専門性が高い領域と思われませんが、当グループでは習熟度によってはレジデントが執刀する機会も多く、とてもやりがいのある職場です。

また、術前カンファとして内科、放射線科医師と治療方針や画像診断について討議し、更にビデオカンファとして、各人の手術手技、理解度の振り返りを行っています。

当科は量・質ともに外科治療に専念できる環境が整っており、特に高度技能専門医や内視鏡技術認定を目指す方には充実した研修が送れると思いますので、興味のある方はぜひ見学へお越しください。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ②



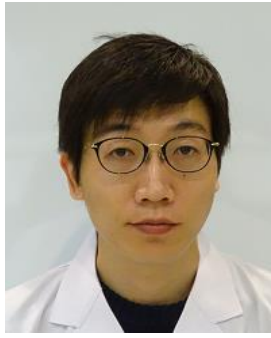
消化器外科レジデント
武智 瞳
(R2～)

私は卒後7年目に埼玉県立がんセンターの消化器外科レジデントとなりました。当院の消化器外科は食道・胃・肝胆膵・大腸の4グループより成っており、3年間研修を希望した場合、レジデント1年目は各グループをローテーションして各分野を重点的に学ぶことができます。レジデント2年目からは自分が専門としたい分野の専属レジデントとして研修することができ、私は現在胃外科で研修をしています。

胃グループは3名のスタッフと数名のレジデントで診療にあたっています。年間150例程度の胃癌手術を施行しており、約6割を腹腔鏡手術で行っています。胃癌に対するロボット手術も積極的に取り入れており、最先端の治療に携わることもできるため非常によい経験になると思っています。

当院は癌に特化した病院であり、一般病院のような緊急手術は少ないため自分の興味のある分野に関して集中して学べる環境にあると感じています。癌診療を専門に勉強したい、興味のある方は一度見学にいらしてください。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ③



消化器外科レジデント
松平 慎一
(R2～)

私は都内大学病院で後期研修、大学院を終了後に、埼玉県内の病院に2年間勤務し、埼玉県立がんセンターのレジデントになりました。埼玉県立がんセンターの消化器外科は食道、胃、肝胆膵、大腸の4グループから成り、レジデントはどのグループで研修を行うか選択することが出来ます。ローテーションをした後に専属グループで研修することも可能ですが、私は大学病院時代、肝胆膵外科に所属しており、今後も肝胆膵外科を集中的に学びたいという思いから1年目より肝胆膵グループ専属で研修しています。当センターには埼玉県内を中心とした多くの病院から紹介患者さんが集まるため、高難度手術を中心として幅広い経験を積むことが可能です。肝切除や膵体尾部切除においては積極的に腹腔鏡下手術を導入しているため、腹腔鏡下手術を学びたい方にとっても良い研修が出来ると思います。又、カンファレンスは消化器内科、放射線科と合同で行っており、診断から方針決定まで手術以外にも多くのことを学ぶ機会があります。

当センターは癌に特化しているため、緊急対応等は少なく、自己研鑽のための多くの時間が与えられているので、自分次第で非常に有意義な時間になると思います。興味のある方は是非、一度見学にいらして下さい。お待ちしております。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ④

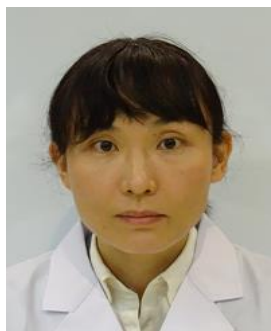


歯科口腔外科レジデント
角谷 宏一
(R3～)

埼玉県立がんセンター歯科口腔外科レジデントの角谷です。私は広島県の福山市民病院で研修を受けた後、母校の岡山大学病院口腔外科で口腔外科臨床に従事しておりました。口腔外科診療に携わるうち、癌治療に対する専門的な知識や技術を習得したいと思うようになり、当院レジデントに応募させて頂きました。現在歯科口腔外科は常勤医3名、レジデント3名、非常勤医2名(補綴科)の体制で、年間120例以上の口腔癌の治療を行っています。病院の性質上、症例の大部分は悪性腫瘍が占めています。多数の症例に対して、口腔外科上級医とディスカッションを通して得られる経験は、口腔外科として成長するにあたって非常に良い蓄積になると考えています。

また当科での診療は口腔の悪性腫瘍のみでなく、周術期口腔ケアも行っています。術前の口腔内診察に加え、化学療法前や骨髄移植前の口腔ケア、口腔粘膜障害予防にも携わっており、口腔領域に以外の悪性腫瘍の患者様の治療に関わる機会も豊富にあります。様々な領域から得られる経験も、これから悪性腫瘍の治療に携わる医療者にとって非常に貴重な経験になると思います。口腔癌に興味がある口腔外科医はぜひ、当院に見学に来て下さい。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ⑤



消化器外科レジデント
岡本 知実
(R2～)

私は卒後10年目より埼玉県立がんセンターのレジデントとして研修しています。内視鏡技術認定の取得を目的に応募しました。

消化器外科では食道・胃・肝胆膵・大腸の4グループよりなっています。3年間の研修の場合は、初めの1年は各グループをローテーションして各グループで専門的に癌の診療を学んだのち、レジデント2年目で希望グループに所属します。

ローテーション中は各グループでの診断治療方針などのカンファレンス準備などを通して癌治療を学びます。

現在私はローテーション中ですが、ローテーションが終了すると、希望グループにて手術の執刀を含む診療に集中します。

一般病院と異なるところは緊急症例が少なく、内科的治療は内科で行うため、癌治療について集中して学習し、希望グループでは手技を鍛錬するにはよい機会だと思います。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ⑥



消化器外科レジデント
石田 啓之
(R3~)

私は卒後7年目で当院消化器外科のレジデントになりました。消化器外科は食道、胃、肝胆膵、大腸の臓器別グループから成り、レジデントは経験年数や希望に応じて各グループローテートあるいは各グループ専属になります。私は、これまでにがん専門病院での臓器別研修の経験があり、また大学院で肝胆膵外科を専攻していることから、肝胆膵外科2年研修プログラムに応募しました。肝胆膵外科では、肝胆膵外科学会高度技能指導医・専門医および内視鏡外科技術認定医のスタッフの指導の下、高難度肝胆膵手術や腹腔鏡手術を経験することができます。肝胆膵領域は消化管領域と比較すると若手外科医の執刀機会が少ない領域かと思いますが、当院ではレジデントも習熟度に応じて多数の執刀経験を積むことができます。肝胆膵外科高度技能専門医や内視鏡外科学会技術認定医を目指す若手外科医にとって恵まれた環境であると思います。また、消化器内科や放射線科との症例検討も活発であり、患者さん一人一人の治療方針を丁寧に決定するプロセスに参加し、さらに最新の臨床試験に関する知識をアップデートすることができます。学術的にも、これまでに蓄積された膨大な臨床データを活用し、学会発表や論文執筆のチャンスがあることも当院の特徴です。当院での研修に興味のある方はぜひ見学にいらしてください。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ⑦



消化器外科レジデント
菅原 弘太郎
(R3~)

埼玉県立がんセンター消化器外科レジデントの菅原です。私は千葉県の旭中央病院にて3年間一般外科研修を積んだ後にもともと学生時代より興味があった食道手術領域を専門的に学ぶために2016年に東京大学胃食道外科に入局し、その後病棟医・大学院生として「がん治療用ヘルペスウイルスを用いた研究」を行い、2021年4月より当院の食道外科にて学ぶ機会を頂きました。

食道手術を体系的に学ぶことができる施設は大変限られております。当科では確立された厳密な郭清手技による胸腔鏡手術をはじめ、食道手術を年間60例近く行っており、全ての手術に参加することができるため、ひとつひとつの手技について徹底的に深く学ぶことが可能です。また他科の先生との合同カンファなどにより最先端の食道癌臨床に触れる機会も多く、食道癌の集学的治療に触れる機会が数多くあります。また食道領域のみならずさまざまな消化器外科領域のエキスパートの先生の手術を見学することができるため、大変刺激になります。さらに病理部を始め臨床研究を行う土台も確立されており、基礎的な面からもoncologyを突き詰めていくことができます。食道領域に興味のある先生、是非一緒に働きましょう。お待ちしております。

先輩レジデントから皆さんへのメッセージ⑧



消化器外科レジデント
朝倉 孝延
(R3~)

今年から埼玉県立がんセンター外科レジデントとしてお世話になっている朝倉孝延です。研修医になってから大学病院で働かせていただき、食道胃外科に入局しました。働いていく中で、胃手術、腹腔鏡手術を中心に学びたいと思っていたタイミングでこちらのお話をいただき、是非とも学ばせていただければと思い応募させていただいた次第です。まだまだ手術、特に腹腔鏡手術の経験が少ないこともあり大変だとは思いますが頑張りたいと思います！

レジデントは合計3年間のシステムとなっており、1年目は消化器外科食道・胃・大腸・肝胆膵の4科を3か月ローテーションします。2、3年目は希望科に所属となります。

ローテーションさせていただくことで、各科の手術に触れることができるので今までとはまた違った見方ができたりと、良い経験になると思っています。

レジデントの皆さんは手術はもちろんのこと真剣に勉学に励んでおりとても刺激になりますし、手術ビデオ等でスタッフの先生方から指導いただけたりと、勉強させていただく上ですごく良い環境だと感じております。

私は胃外科希望ですので来年からは胃外科でお世話になります。

当センターは緊急症例等が少ないこともあり、自分の時間を持つことができ希望に沿って有意義なレジデントライフが送れると思います。

是非一度見学にいらしてください。